

私の英語学習法

- 和文直訳を排し意味から起こす英語 -

会員 木村 進一

はじめに

若い人から英語の勉強方法をよくきかれる。私は学問や学習に王道なしと思っているので、特効薬的な方法はないと答えている。要は、謙虚さ（素直さ）とやる気（持続力）である。しかし、私に英語の勉強方法をきく若い人にはこの大事な2点が欠けているように思える。やり方は自ら試行錯誤で編み出すしかない。そのプロセスが勉強である。勉強といっても受験用ではないから楽しくやるのが大切で、それがないと持続は無理である。それと謙虚さ。資格、役職、年嵩、出身大学や所属する企業の名声など一切忘れることである。そういう素直さがないと、英語に限らずだが何事も成功しない。プライドを鼻先にぶら下げていては、多分ゴルフでも上達しないのではないかと。概して、大人になってからの稽古事がうまくいかないのは潜在的なプライドのせいではないかと思う。英文明細書の質も発明者（企業）のプライドの高さに反比例して悪くなるから気をつけるべきである、老婆心ながら一言。

もう1点。最近若い人で資格をとると外国、特に米国の事務所に行くのがはやっているが、あれが成功するのは野球で言えば、野茂、イチロー、佐々木クラスであって、二軍は先ず地道に日本で実力をつけるべきである。英語で概念構成もできない者が外国へ行っても笑い者にされるだけである。行くならリトルリーガーとして大学の語学集中コースに行った方がいい。

ところで、日本人の英語はなぜ外国人に通じないのか。通じたとしてもそれは相手側の同情によるところが大きい。原因は、日本人は日本語の字面を英語の字面にさすすれば外国人に通じると思っているからである。日常会話的な軽いものではなく意味の濃いもの・深いもの、いわゆる大人の話（adult themes）になると伝達不能である。それは、意味・概念そのものから英語を構成することをしないからである。英語で考える思考法、私のいう英考法、人によっては英語思考回

路が身についていないからである。どういうことかと言うと、日本語では、対象概念を主観的・感情的に捉えるのに対し、英語は客観的・分析的である。どちらがいい悪いの問題ではない。感情表現がそのまま英語に置き換えられて文章に入ってくるから外国人は今までに経験したことのない表現や言葉に出会うことになり、そのため日本人英語は外国人の思考回路の入り口で拒否反応にあってしまう。その結果“わからん”ということになるか、精々“よくわからないが、まあこんなところか”，ということになる。これは一人前として扱ってもらっていない証拠である。英文明細書がその悪しき典型ではないかと思っている。話して分らせることができない者が明細書なら分らせることができると思うのはとんでもない錯覚である。英語世界では、聞くまたは読むスピードと理解のスピードとは同じと考えられているから、一度聴いてまたは一読して理解できない英語は分からないということになる。敵・味方の選別ができないビジネスの世界で、自分の話したこと・書いたことを相手がじっくり聴いてくれる・読んでくれることを最初から当てにするのは間違いである。甘えとも言える。特に、国際舞台では発信者は自力で主張責任を全うする覚悟が必要である。日本の学者や研究者の海外での研究発表は、文章の構成だけでなく、発音、話す態度、諸々の悪しき要因が重なるからかなり悲惨なものらしい。遠因の1つは、コミュニケーション技術の習得を目的にしてこなかった日本の英語教育にある。

英語を習得する目的は、自分の書く英語や話す英語がすべて達意なものとするためである。先程会話も手紙も自信がないが、明細書だけは“OK”と思うのはとんでもない錯覚だと言ったが、それは会話も文章であり、文章は英語総合力の正に結晶、見方によってはその人そのものだからである。いずれにしても自分の英語表現力のレベルを上げる必要がある。そこで、僭

越ながらこの機会に私のとっている方法をご紹介しますことで日頃のご質問にお答えしたいと思う。具体的には、自分の英語表現のレベルを良質な英文のレベルに限りなく近づけることである。ところで今は、“僭越ながら”と言ったが、これがいけないのである。英語思考回路には入力できない言葉であり発想である。僭越と思うなら書くな、と言いたい。日本の常識は世界の常識ではない。日本人の記述や発言には謙譲の美德の名の下に他人の評価を気にして論点を曖昧にしたり、一步引き下がったような言い回しが多い。たとえば、“特許権は有力な武器である。もっとも、例外もあるが”式の言い方など典型であろう。これは原則論に対し例外論が、例外論に対し原則論が反論や揚げ足取りに使われるため予防策が先に働いてしまうからである。だから焦点がぼけてしまう。この悪習は、言葉尻をとらえて他人を批判し、引きずり下す日本人社会の悪弊があるかぎり消えないだろうと思う。明細書に無駄な言葉が多いのもそれが原因している。と言う次第で、“僭越ながら”は撤回させて戴く。僭越どころか私は自信をもって書いているのだから。

ここに紹介する私の英語学習法は、ある状況なり意見を設定してそれを、自分が現に置かれた状況、自分が現にもっている意見、と仮想して自分の英語で再生する方法である。紹介する状況 1～9 は、自分が読んだ文章から気に入った部分やこれは英語表現がむづかしいと思った箇所を意識したものである。読み書きが同時に学習できる利点がある。こうして英語に対する私の視線を上げていき、上がった視線で自分の英語を見ることにしている。ギャップが大きいときはその英語は反故にする。状況 10 は私の学習方法の応用すなわち実践編で、自分の考えを英語で概念構成したものである。

一見、伝統的な和文英訳問題であるが、日本文の字句からではなく、その状況なり意見から英文を起こすのである。これが私の方法の大事なところである。この学習法は新しい方法ではない。たとえば、斎藤兆史著『英語達人列伝』(中公新書)に達人の一人斎藤博元外交官がとられた「新たに学習した言葉を文章に仕組んで実習」する方法が紹介されているが、私の方法と同じではないかと思う。言葉は文脈と切り離してはいけないということである。手許の資料は豊富にあるが、紙数の関係で平成 12 年中に収録したものの中から一

般性のあるもの 10 点を選んでみた。

種類は英誌、小説、随筆など多種にわたる。特許実務者はとかく文学作品をバカにし軽視する傾向があるが、明細書英語を幾ら眺めていても言葉の勉強にはならない。文学や評論、それも骨のあるものにぶつかって言葉感覚を磨かねばならない。最初は先ず文学編から状況 1～3 を選んだ。原作は『検死官』(パトリシア・コーンウエル著)である。

【状況 1】

6 月、金曜日、リッチモンドはひどい雨だった。夜明けに始まったどしゃぶりの雨だった。お蔭でリリーの花は散って茎だけになってしまった。街のあちこちに小さな川ができ、公園には新しい池ができた。スレート屋根に響くドラムのような音を聞きながら眠りについたが恐ろしい夢をみた。窓越しに形のない白い顔を見たのである。人間と思われなかった。目が覚め、私は暗い部屋に目をやったがなにも見えなかった。なぜ目が覚めたのかわからなかった。その時、電話が鳴った。私はぬかりなく受話器を取った。

(指針) 目標は、文章の簡潔性、すなわち、言葉少なくして最大の意味を出すこと、さらに言えば、一読直解を可能とする文章である。決して読み手に元へ戻らせてはならない。簡潔に書くには、一語一語を大切に、一語の意味領域を尊重し、意味が重複しないように気を付けることである。

状況は、主人公検死官ケイが殺人事件の第 1 報を自宅で受けとったときのものである。しかし、英語再生にあたっては殺人事件まで立ち入る必要はない。また、自分の体験とするのにリッチモンドが邪魔なら自分の住んでいる土地をあてればよい。私なら京都になる。これは原作英文の暗記テストではないので以下の英文は原作そのままではない。与えられた状況を自分のものとして自分の英語で再現するのである。試訳はいくつか手許にはあるが、ここでは最も無難なもの 1 つだけにする。

(試訳)

It was raining in Richmond on Friday, in June . Beginning at dawn, the downpour was merciless, and beat the lilies to naked stalks. There were small rivers here and there in the streets, and newborn ponds on the playing fields. I went to sleep to the sound of

water drumming the slate roof, and dreamt a terrible dream . It was a white face that I saw beyond the window glass , almost formless and inhuman . I woke up and stared blindly into the dark . I did not know what had awakened me until the telephone rang . I found the receiver without fumbling.

(注) without fumbling の fumble は野球で言うファンプル (取り損なう) の意味である。

【状況 2】

カフェインとニコチンは 2 つの悪弊だといわれながら、不思議なことに多くの人は簡単に身を任せている。カフェイン、ニコチン、コレステロールなどは人間の死神だといわれている。先日、私は幸運にも 300 人余の法医学者が出席した晩餐会に招かれたが、出席者の 75% の人はジョギングもせず、エアロビックスもせず、乗り物があれば歩かない、座れる席があれば立たない、下りでなければ階段であろうが山道であろうがなんとか避けようとするそうである。3 分の 1 の者がタバコを吸い、大部分の人が酒を飲み、全員があたかも明日がないような食べ方をする。彼等は病氣や死について最先端に行く専門家だというのに。

(指針) これと同じような状況が最近日本の新聞に書いてあった。直ぐ応用のできる状況表現ではないだろうか。大事なことは、キーワードをしっかり覚えることである。文章構成はその場その場でやればよい。

(試訳)

Caffeine and nicotine are generally accepted as two vices but strange to say, many people will not be willing to keep away from them . It is further said that caffeine, cigarettes and cholesterol are the grim reapers of human beings . The other day I was lucky to have an opportunity of sitting at a banquet with three hundred forensic pathologists . I learnt there that seventy-five percent of them don't jog or do aerobics, don't walk when they can ride, don't stand when they can sit, and are diligent enough to avoid stairs or hills unless they're on the decline . A third of them smoke, most of them drink, and all of them eat as if there is no tomorrow when all of them are the world's foremost experts in disease and death .

【状況 3】

テネシー・ウィリアムズの、少なくとも最も成功した戯曲の特徴は、ロマンチックな穏やかさの底にセックスと暴力が潜む屈折した世界を描いたところにある。だからと言ってそういう作家が自らそのシナリオを実行することにはならない。実生活では敬虔なカトリック信者と言うこともある。

(指針) こういう意見を自分のものと仮想するのはむづかしいので、表敬訪問の米国代理人と昼食を共にし、その席で教養のある彼 (または彼女) が均等論ではなくテネシー・ウィリアムズの話を持ち出したと仮定すればいい。会話であるから文語スタイルでなくざくばらんな会話調に変える必要がある。

(試訳)

One of the features of Tennessee Williams' plays is that not all but at least most successful plays reveal a frustrating world in which sex and violence lie beneath the surface of romantic gentility . However, the people who create such scenarios rarely put them into practice . In real life, some are devout Christian .

(感想) 外国の代理人と食事の席で本当はこうした仕事を離れた文化の香り高い話ができないといけなくと常々思っている。これが冒頭で触れた大人の話 (adult themes) である。日本のビジネス人はこういう点で貧弱かつお粗末なのである。“ 企業戦士 ” は、これとは最極端の人間像である。我々の場合、寄ると触ると均等論では能がなさ過ぎる。状況 3 は仮想ではなく現実的であって欲しいところである。

さて、次の状況 4 ~ 9 は TIME の記事を基にしたものである。手許にはこの種の資料が圧倒的に多い。我々の職業的状況に近いものを選んでみた。外国出願関係者で TIME が読めない、読む気力もない人がいたら不適格として担当から外した方がいい。勿論、TIME 以外の英誌、例えば、NEWSWEEK でもいい。知財関係の外国専門誌は読むのが当然でここでは対象にしない。しかし、TIME が読めない人はそうした雑誌も積んでおくのが関の山のような気がする。

【状況 4】

アインシュタインは現代の英雄か。特に、アメリカでは。タイム記者ローゼンブラット氏は、もし我々が

彼を英雄だと考えるのなら、英雄の定義を全面的に変える必要がある、と「タイム」1999年12月31日号で述べている。さらに彼によると、普通教育への指向と反インテリ主義とはアメリカ文化の不可欠の一部であって、それら反インテリ主義と普通教育への志向とが教師の地位を低めているのだと言う。アメリカでは利口さだけでは十分ではなく、カウボーイと開拓者のあの抜け目のなさ、現実的なたくましさによって理論（知識）を補う必要がある。アインシュタインはこの実行に成功し、現代における最初のインテリスーパースターとなった。それは彼が、アメリカ国民が高く評価するアカデミック的ではなく感覚的な利口さを持ち合わせていたからである。彼は自分の理論をロケットや原子爆弾という現実的なものに応用したことによってスターの座をかちとったのである。（TIME, December 31, 1999）

（試訳）

The Age of Einstein

Do you think Einstein has become a modern hero, especially in America? Mr. Roger Rosenblatt says in the TIME of December 31, 1999, that if you think so, it will be necessary to totally revise the definition of a hero. According to him, anti-intellectualism and the drive for universal education are an integral part of American culture. The coexistence of both may account for the low status of teachers. In America, he also says, it is not enough to be smart but one must compensate for one's intelligence by showing the caninness and real-world power of the cowboy and the pioneer. Einstein successfully did this, and has become the first modern intellectual superstar. He won the stardom in the way Americans could accept for his intuitive intelligence, not scholarly one, and by having his thoughts applied to practical things such as rockets and atomic bombs.

【状況5】

ハッカー侵攻の背景

ウェブ歴史上最大のハッカー攻撃が先週の月曜日、バーチャル地平線に津波のように現れてきた。いまのところだれもそのことは知らないが、ウェブの最もポピュラーなポートが混乱情報によって攻撃され神経麻痺

痺と同じようなデジタル状態となった。通常ヤフーは毎秒2億ビットのデータを吸収している。それは、何百のヤフーユーザーがいながらにして、たとえば、リッキー・マーチンの内幕を知ろうと一斉にアクセスしても対処できるのだが、今や、ヤフーの最も強力なインターネット・サービス・プロバイダーは毎秒10億のビットで詰まってしまったのである。（TIME, February 21, 2000）

（試訳）

Behind the Hack Attack

While the biggest hacker attack in Web history loomed like a tsunami on the virtual horizon last Monday. Although neither man knew it yet, the Web's most popular portal was being bombarded with enough confusing information to cause the digital equivalent of a nervous breakdown. Normally, Yahoo absorbs a couple hundred million bits of data each second, meaning it can handle millions of Yahoo users asking simultaneously for, say, the lowdown on Ricky Martin. But now Yahoo's Internet service provider was clogging up with as many as 1 billion bits a second.

【状況6】

遺伝子組換え食品を巡る攻防

現実問題として、遺伝子組換え食品は米国では既に日常生活の一部になっている。米国農務省によれば、昨年度の米国産のコーンの3分の1、大豆および綿の半分以上は遺伝子組換えにより生産されている。今年中（注、2000年）に26,000,000ヘクタール以上で遺伝子組換え穀物が栽培される予定である。（中略）

バイオテックは万能薬ではないが、多くの発展途上国の農業を変えることを約束している。もしその約束が果たせなければ、真の敗者はその国民であり、彼等は将来にわたって苦しむことになるだろう。（TIME, June 19, 2000）

（指針）状況6は、最近槍玉にあげられている遺伝子組換え食品の弁護論である。論者は“なんと”マイクロ・ソフトのビル・ゲイツ氏。論考の最初と最終段落だけを紹介する。今、“なんと”と書いたが、これは主観的言葉であるので英考法では削除が必要。この状況も直ぐ応用できる表現を含んでいる。

(試訳)

Will Genetically Modified Food Feed the World?

In fact, genetically modified foods are already very much a part of life in the U.S. A third of the corn and more than half the soybeans and cotton grown in the U.S. last year were produced by biotechnology, according to the Department of Agriculture . More than 26 million hectares of genetically modified crops will be planted in the U.S. this year. (omitted)

Biotech is not a panacea, but it does promise to transform agriculture in many developing countries . If that promise is not fulfilled, the real losers will be their people, who could suffer for years to come .

【状況 7】

石原東京都知事発言問題

とかく問題発言の多い石原都知事。案の定、昨年の知事就任以来物議をかもし出している。お台場のカジノの開設計画、ジーゼル車の通行規制、ドラマライマとの接見問題や台湾に対する友好的態度で中国の神経を逆撫でし、外形標準課税の導入では銀行を訴訟に駆り立てるところまで来ている。

事が収まらない内に、またまた今回の三国人発言である。しかし、石原氏は、都民の心を読み、巧みに都民の心の奥底にあるものを汲み出した上で政策決定を行っているように思える。私は石原氏をテレビで見るのは好きである。それは、彼の率直で勇氣ある発言からたとえ痛みを伴っても改革を実行するんだという雰囲気があるからで、口先だけの政治家や官僚とは対照的である。むしろ責めらるべきは、言葉尻だけを捉えて他人の攻撃に終始しているマスコミや一部野党議員だと思っている。こんな環境だから日本では政治家が育たないのである。(TIME, April 24, 2000)

(指針) 私個人は石原氏の言語感覚は好きである。さらに長野県知事の田中氏、阪神タイガースの野村監督。少なくともこの 3 人には傾聴に値する言葉がある。抽象的でなく factual (現実的) な点である。factual でなければ人は他人の言に耳を傾けることはない。明細書が空しいのはこの点に欠けるからである。

(試訳)

Tokyo Governor, Shintaro Ishihara

A provocative politician, Tokyo Governor Shintaro

Ishihara, has been shaking things up since he took office a year ago just as people had expected . He has announced plans to open casinos in the Odaiba district, and has proposed to ban diesel trucks from Tokyo roads . He irked China by inviting the Dalai Lama to his office, and showing a friendly attitude toward Taiwan . To erase Tokyo's deficit, he has also announced a plan to levy taxes on large banks operating in Tokyo. The conflict between the Tokyo Government and the banks has come to a stage where the bankers have determined to fight the plan in court .

Before anything being resolved, he crossed another line by referring to a most seemingly derogatory word sangokujin, who, he explains, have illegally entered Japan .

However, it seems to me that he always elaborates policies after having read the minds of the people, and having skillfully tapped into the public zeitgeist . I like watching him on TV because he appears to risk everything to effect change by way of frank and courageous dialogue, unlike other politicians and bureaucrats who only pay lip service to reforms . I think that the problem is with the media and some leaders of the opposition parties who do nothing but find fault with the simple slips of the tongue . Under such circumstances Japan will not allow politicians to rise .

(注) 三国人発言は、石原氏の説明 (釈明) を英語にすると上のように sangokujin, who, he explains, have illegally entered Japan . となり、「コンマありの関係代名詞」の非限定用法になる。この形からみると、石原氏は不法入国者だけを三国人とやったのであり、それ以外の外国人まで三国人とやったのではない。“石原氏を弁護するわけではないが”氏の発言に問題ないと私はみている。さて、この“石原氏を弁護するわけではないが”も英考法では採用できない言い方である。明らかに石原氏弁護なのだからこの一言は撤回させていただく。

【状況 8】

日本の汚い秘密

- 命に関わる有害物質が環境を毒するにつれ東京都は今や問題回避に必死 -

東京の閑静な住宅地として知られる杉並は、日本の首都の中心にありながら 4 年前に建設されたプラスチックの廃処理工場の稼動以来環境は悪化の一途を辿り、400 名以上の住民が恐るべき症状を報告している。たとえば、63 歳の婦人は、ホルモンの異常分泌からか胸は妊婦のように大きくなり、あごひげがのびて毎日ひげを剃らざるを得ず、さらに毛髪からはいずれも高レベルのヒ素と鉛と水銀とが検出された。時に言語障害が起こり、意識が朦朧となり、まさに霞の中にいるようだ、と述べている。東京都は、あれこれ説明したが結局のところ廃処理工場がこの閑静な環境を破壊することはないと住民を安心させていたのである。(TIME, May 29, 2000)

(指針) この問題は最近に至って再燃しているようである。これも時事問題として直ぐ応用できる。キーワードが大切である。日本人の英語が貧弱なのは多分に語彙不足が原因している。言いたい観念はあっても英語にならないのが現実ではないだろうか。状況 8 は英語で再現するのはむつかしそうだが、試訳は簡潔で読み返す必要はない筈である。こう言う英語を明細書で書く必要がある。理由の 1 つは、原文に感情的な表現や語句がなくすっきりしているからである(私の訳だが)。

(試訳)

JAPAN'S DIRTY SECRET

- As deadly toxins poison the environment, the government is doing its best to avoid the issue -

Residents of Suginami ward known as a well-to-do residential area in Tokyo and sitting in the heart of the Japanese capital have been exposed to the degenerating atmosphere poisoned with dioxin since a plastic-waste compacting plant opened four years ago. Nowadays more than 400 residents have reported frightening symptoms; for example, a woman of 63 years having her breast swelling as if she were pregnant because of her high level of testosterone, and also having whiskers sprouting on her chin, so that she is caused to shave every day. Her hair tested positive for arsenic, lead and mercury each at high levels. She has difficulty speaking and sometimes trouble thinking clearly. She says that she feels as if she is standing in the middle of a mist. After all, the Tokyo government

had reassured residents that the plant would pose no danger to this neatly landscaped area.

【状況 9】

アルツハイマー病の克服

1906 年にドイツの医師(内科医)アルツハイマー博士は、現在では博士の名前がついてしまった変性脳障害について論文を発表した。以来、医者達の間ではこの病気の原因を巡って議論が続いている。

アルツハイマー博士は、慎重に観察した結果患者の解剖した脳に 2 つの特徴があることを認めた。第 1 は、神経細胞が本来あるべき位置にタンパクの硬いこぶまたは斑点ができていること、第 2 は、神経細胞の多くがもつれていることである。しかし、こうしたこぶや神経細胞のもつれがアルツハイマー病の引き金になっているのかどうか、または、いずれもが、それ以外のさらに隠れた病状の進行の結果なのか、誰も明言することはできない。

今や、一世紀にわたるミステリーは解明されようとしている。斑点がアルツハイマー病の元凶であると認める科学者達は、これらの仮説を証明する最初の機会を掴むことになりそうである。(TIME, July 10, 2000)

(指針) これも状況 8 に似てむつかしそうである。特に専門用語がボトルネックになる。しかし、茶飲み話ではなにが飛び出すかわからないから日頃からの準備が大切だが、それが教養である。その教養が日本人には欠けている。英語ができるためには、語法だけでなく、人間としての中味も大切ということである。状況 3 ではテネシー・ウィリアムズだったが、アルツハイマーはもっと一般性のある話題である。キーワードの習得を心掛けたい。

(試訳)

Unraveling Alzheimer's Disease

In 1906 German Physician Dr. Alzheimer described the degenerative brain disorder which bears his name. Since then doctors have argued about probable causes of this disease.

Dr. Alzheimer carefully noted two features of the autopsied brains of his patients; one was the dense clumps or plaques, of protein that showed up where nerve cells should have been and the other was the tortured tangles that many of the neurons had become.

However, no one could surely say whether the plaques or the tangles trigger the illness or they were both just the most visible effects of some other, more obscure process .

Now the century-old mystery is going to be solved . Scientists who recognized the plaques as the culprit are having a chance to prove their hypothesis .

状況 1～9 はいずれも他人の著作を基礎にしているが、状況 10 は私の体験を基にした正真正銘の私の意見、すなわち、応用編である。昨年の 5 月、カナダ出身のフリーのカメラマンで京都で柔道を学んでいるという青年と懇意になり、京都駅地下の喫茶店で共に語った柔道・剣道談義の断片である。彼は剣道は人を斬る術（killing technique）と言ったのに対する私の反論で、最初彼はそうではないという私の意見に信じられない（unbelievable）と言ったので、もう少し突っ込んだ私の剣道哲学である。喋ったことを自宅に帰りワープロに打ち込んでできた一作である。彼は初段を取るまでカナダには帰らないと言っていた。何段かときくので三段と答えたが、黒帯の初段に憧れている彼には私の段位がまぶしげであった。

【状況 10】

剣道の一側面

剣道といえば多くの人は武術、すなわち、殺しの術と考えている。実は、剣道は扉の向こうに潜む殺気を感じ取る術を体得する道である。殺気を感じたらそれを避ける努力をする。相手にしなくてもよい敵は避けるが、そうでない敵とは勇気をもって対決するのである。現代人に欠けているのは、この危険を事前に察知する感覚ではないだろうか。最近、政治・経済・金融・警察・交通等あらゆる分野で頻発している事故や不祥事は、すべてこの感覚の欠如からきているような気がする。今や現代人は危険察知の感覚がなく、たとえ察知しても対決する勇気を失っている。

「殺気」を hostility などとしても外国人には通じない。英考法では、ずばり指摘するのが鉄則である。となると、killer（刺客）の存在である。killer は risk を象徴している。

（試訳）

One Aspect of Kendo

- Sensing a Killer behind a Door -

Kendo is generally accepted as a martial art directed toward skills at killing enemies with a sword .Originally, this understanding was correct . However, once modern society has replaced swords with guns, this understanding is no longer valid .Everyone knows that swords are less efficient than guns . Then, what is the use of kendo? Has it lost the reason for its existence?

I do not think so . I would like to emphasize the aspect of kendo in which it is helpful to cultivate the skill at risk management .

There is a maxim that the kendo spirit does not exist in how to kill but in how to foresee a killer who might lurk behind a closed door . Kendo teaches that if we have sensed one lurking behind a door, we should avoid opening it and take another route . If the circumstances do not permit it, we should dare to open the door with utmost care and fight with the killer . ' The Goddess of Victory always sides with a daring sword fighter.'

Recently, in Tokyo a subway train derailed and collided with a train on the opposite line . Five passengers were killed, and many were injured .In that case, the killer lurked as a fatal railway fault . There could be two causes for the tragedy; one could be that railway inspectors did not carefully notice the possible cause of the accident through regular checks, or the other could be that they noticed but underestimated it by thinking that there would be no problem . Either of the causes would be due to the lack of foresight . If the inspectors had sensed the killer lurking in the railway, they should have eliminated the potential cause by any means .

Foresight of unseen killers requires constant concentration . If you want to acquire the ability to foresee a hiding killer through kendo, you should train yourself toward the perfection of your swordsmanship, and you will be able to cultivate a cool head which is essential for seeing everything in its clear light . This accounts for comparison of kendo to Zen . In this highly complex world the ability to foresee unseen killers is becoming increasingly important .

(注) 昨年、東京の地下鉄日比谷線で脱線衝突事故があり、特許庁審査官も一人犠牲になられた。事故後直ちに対策が講じられたが、直ぐ直るものを何故犠牲者が出るまで放置しておくのか。専門家のくせに“扉の向こうの刺客”が感知できていない。それが念頭にあってあの事故を引き合いに出したが、未だに腹の立つ事故である。

私の主張の特徴は、剣道と危機管理 (risk management) とを結び付けた点である。主張には論点が必要である。特に英語ではそうである。主体性のない詠嘆のような英語は外国人には受けない。論点があるから責任がかかる。表現は主張だということを忘れてはいけない。とにかく日本人の発言は独り言 (モノローグ) になりがちである。モノローグは無責任である。いかに責任をもって主張するか、これも英語の学習目標である。

あとがき

シドニーオリンピックの男子柔道 100 キロ超級決勝

で、篠原選手がフランスのダビド・ドイエ選手に負けたときの判定が世紀の大誤審として話題になったが、あれは日本人の発信力不足のせい、と私は見ている。柔道の技は輸出できたが、精神は輸出できなかった。技は言葉なしで輸出できるが、精神の輸出には洗練された英語力を必要とする。柔道界に鈴木大拙や岡倉天心、新渡戸稲造はいなかったのである。相手の力を利用して勝つ、いわゆる「柔よく剛を制す」は柔道の醍醐味ではないのか。「内股すかし」の業は相手をコントロールしていないから勝ちにならないと言うのはいかにも西洋的思考である。しかし、批難はできないと思う。批難すべきは、真の柔道精神の流布を怠った日本人の発信力の無さである。お家芸と言いたかったらそこまでやっておくべきである。発信力の弱さは国際社会における日本人の致命傷であるが、今回の柔道問題はその1つに過ぎない。

(原稿受領 2001.3.7)

「工業所有権法規沿革」IV・V 巻 発行のご案内

特許庁監修・日本弁理士会発行

「工業所有権法規沿革」について、明治4～平成6年にひきつづき、今回、平成7～12年分が完成しました。下記の方法で販売しますので、お申し込み願います。いずれもセット販売に限ります。

～ 巻 (明治4～平成6年) 30,000 円 (送料込) + 消費税 1,500 円

・ 巻 (平成7～12年) 22,000 円 (送料込) + 消費税 1,100 円

申込先: 日本弁理士会 西田宛 FAX: 03-3581-9188

e-mail: XLL02710@nifty.com